

5 情報プラットフォームの充実

女性獣医師等の活躍推進のための幅広い情報を一元的に提供する総合的な情報プラットフォーム「女性獣医師応援ポータルサイト」(URL: <http://nichijushien.com/>) を平成 28 年 2 月に構築。ロールモデル、e-ラーニング教材、求人情報、相談窓口、セミナー・研修関係情報等を紹介しており、順次コンテンツを追加し、内容を充実させるとともに、ポータルサイトの周知、活用促進を図った。

(1) ロールモデル

各職域の幅広い経験を持つ獣医師のご協力をいただき、平成 31 年 3 月現在、産業動物診療獣医師 11 名（前回 9 名）、小動物診療獣医師 6 名（5 名）、公務員獣医師 14 名（11 名）、大学・研究・展示施設獣医師 5 名（3 名）のロールモデルを掲載している。新たに、いったん退職した後に育休代替獣医師として復帰した獣医師、育休を取得した男性獣医師に執筆を依頼し、掲載した。

ロールモデルは、これまでどおり、広告・宣伝にならないよう配慮し、委員自身または委員が推薦した獣医師に執筆を依頼して掲載する、という考え方で掲載した。

○ 今後の課題

産業動物診療分野と公務員分野のロールモデルが多いので、小動物診療分野のロールモデルを充実させるようにする。

ひとつの職場でずっとフルタイムで仕事を続けた獣医師より、職場を変えながら、短時間勤務等多様な働き方をしながら獣医師として仕事を続けてきた、長いブランクを経て再び獣医師としての役割を果たしている、などの獣医師に依頼し、獣医師としての責任・役割の果たし方にはいろいろある、ということをもっと紹介したい。

(2) e-ラーニング

e-ラーニング教材は、出産・育児、介護等により学会・セミナー、実習・研修等に参加できない獣医師が、在宅でも学習できるようにすることを目的としている。

講演会や既存データの掲載だけでなく、最後に学習状況が確認できるような新しい e-ラーニング教材の作成が求められ、新しい教材の一つとして

試行していた学習確認機能のある「獣医師クイズ(プレオープン版)」を「ネット」で力だめし。獣医師国家試験に挑戦!!」として平成30年12月に運用開始した。平成24年度～30年度の獣医師国家試験問題と解答を掲載している。

世界獣医師会(WVA)の生涯研修の教材には学習確認機能のある教材が多数存在するため、日本語翻訳、有料コンテンツの利用についても検討したが、まず、すでに掲載している無料コンテンツを利用しやすくするための手引きを掲載した。

また、日本獣医師会雑誌に掲載される「獣医師生涯研修事業 Q&A」をその都度掲載するとともに、「女性獣医師の職場の実態や働き方の紹介」、「女性獣医師活躍推進に関するシンポジウム」の項目を新たに設け、関係する動画等を掲載した。

動物検疫所、動物医薬品検査所、農研機構動物衛生研究部門、家畜改良センター等関係機関のご協力により得られた既存のコンテンツ等を引き続き掲載した。

○ 今後の課題

eラーニング教材は、その目的から、既存のものであっても、有用な教材は積極的に掲載していくことが必要である。大学や学会で作成された既存の教材について、提供していただくよう依頼し、ご理解が得られたものから掲載を進める。

「ネットで力だめし。獣医師国家試験に挑戦!!」については、農林水産省が公開している問題と解答だけでなく、解説も掲載したほうが良いとの意見もあるが、正確な解説を執筆する体制をどのように作るか等慎重な検討が必要である。

世界獣医師会(WVA)の生涯研修の教材には有用なものが多数存在するので、掲載済みの無料コンテンツ(英文)の利用状況等を勘案しつつ、日本語翻訳とともに有料コンテンツの利用についても引き続き検討する。

(3) 求人情報

ポータルサイトの人材募集ページは、日本獣医師会ホームページの人材募集ページに移動するもので、地域、職種、職域、雇用形態、休日等の条件検索は可能となったが、短時間でも勤務してくれる獣医師を求めている雇用者がいること等は伝わりにくい。子育て中の人も勤務していること、短時間勤務も可能であること等きめ細かい条件で検索できるよう、掲載用

シートを工夫する等による早急な改善が待たれる。

○ 今後の課題

ポータルサイトの人材募集ページの改善が急務である。具体的には、雇用形態の「パート/アルバイト」等の分類を見直し「常勤」「非常勤」とする、時短勤務可、夜勤・残業なし、復職研修あり、保育園の送り迎え時間の考慮、育児・介護等の状況に応じた勤務が可能等のきめ細かい情報が得られるようにするため、サイト掲載時のフォーマットから改良し、検索条件も見直す等の改善を急ぐべきである。

小動物診療現場ではフルタイム勤務が基本で、勤務時間帯ごとの時給の設定といった短時間勤務者の雇用条件の整備が遅れている。多様な勤務形態を提示することに加え、時給の見直し等についても成功例の紹介等なんらかの検討が必要である。

(4) 相談窓口

仕事を続けやすい環境づくり、復職しやすい環境づくりのいずれにも気軽に相談できる相談者の存在が重要である。妊娠がわかった、育児休業等で職場を離れている、仕事上の悩みを抱えている等の女性獣医師が気軽に相談できるような仕組みが各職場にあることが理想である。ポータルサイトにも「相談窓口（お問い合わせ）」欄を設置したが、相談件数は少ない。名称や記入方法等が相談しやすい印象とはいえないことから、他の相談窓口を参考に改善について検討するとともに、大学や他の団体の既存の相談窓口とのリンクができないか等についても調査・検討した。

また、相談員の委嘱についても検討したが、さらに決めておくべき事項が明らかになり、委嘱には至らなかった。

○ 今後の課題

ポータルサイトの「相談窓口（お問い合わせ）」を、名称の見直し、相談窓口を職域別にする事等を含め、より相談しやすいように改良する必要がある。

より身近な地方獣医師会に窓口を設けた方が利用しやすいとの考えから、すでに実施を検討している地方獣医師会もある。こうした取組みを紹介し、推進するとともに、日本獣医師会も相談体制を強化し、連携・役割分担ができるよう検討を進める。相談対応を引き受けてもよいとしている委員を中心に、必要に応じ研修をどのように行うか等を具体的に検討した上で、相談員、

アドバイザー等として委嘱する。仕事を続けやすい環境づくりのために、広く導入が進められている「メンター制度」を参考にすることについても検討する必要がある。

また、大学、他の獣医師団体等の取組みも調査し、了解の得られたところからポータルサイトにリンクさせていただき、相談体制の充実を図る。

(5) 地方獣医師会等の HP とのリンク

平成 29 年 1 月 29 日付け事務連絡「女性獣医師応援ポータルサイトへのリンクについて（依頼）」にて、各地方獣医師会宛てにバナーを添付し、リンクを依頼したのち、掲載用の新たなバナー大、中、小を配布し、さらなる協力要請を続けた。その結果、平成 31 年 3 月現在、55 地方獣医師会のうち 32 地方会（前回 17）のホームページにポータルサイトがリンクされている。

獣医学系大学へもリンクの要請を開始した。

○ 今後の課題

地方獣医師会のホームページの中には、サイトの構成上、リンク集の設定や、バナーを直接貼ることが可能な仕様となっていない場合もあるが、対応策を検討しつつ、引き続き、協力要請する。

獣医学系大学に引き続きリンク要請を続けるほか、関連団体等へも依頼することを検討し、このサイトがより広く活用されることをめざす。

また、ポータルサイトをより広く認知し、活用していただくため、「女性獣医師」（または、単に「獣医師」）と入力するといちばん先に表示されるようにする等の対策が必要である。